

PREFACE

■ 編集方針

人の英語力はどのような場面で明らかになるのでしょうか。たとえば、一般に「あの人は英語がうまい」と言えば、それは英語を上手に話せることを指します。しかし、その人の英語力は、英語を「話せる」ことのみには限りません。英語を「書く」力もまたその人の英語力を端的に表すのです。また、逆に、英語を書く力の養成を通して全体的な英語力を高めることも可能であり、有効な方法です。

本書は書名にあるように、和文英訳の演習に徹底して取り組むことを通して確かな英語の力をじっくりと身につけてもらいたい——そのような思いとねらいで編んだ「骨太の」問題集です。

■ 特 色

- 1 本書はテーマごとに5つのパートに分け、各テーマにふさわしい**和文英訳問題**を収録した。
Part 1 英語を書くという観点から役立つ「**英作文のコツ**」をまとめ、問題を選定した。
Part 2 本書のメインパートで、**主要な文法事項を網羅し、文法テーマごと**に問題を分類した。
Part 3 「目的・意図」「原因・理由・結果」など、**表現・機能ごと**に問題を分類した。
Part 4 「旅行・交通」、「日本・社会・経済」など、**話題（トピック）ごと**に問題を分類した。
Part 5 いわゆる**課題英作文**や**自由英作文**を特集して、例題・解説と併せて問題を収録した。
- 2 Part 1～Part 4の各章（Chapter）は見開き2ページで構成し、右ページには全て和文英訳問題、左ページには英作文に立つ例文（Model Sentences）とそれらの解説を盛り込んだ。
- 3 Exercises では問題を易から難へと配置した。中には「難関」と呼ばれる大学及び学部・学科を志望する諸君向きの手強い問題も収録した（Challenging と表示）。
- 4 必要に応じて、参考となる考え方や語句・表現を Hints として示した。
- 5 Part 1 と Part 2 には Tips for Writing のコーナーを設け、各 Chapter と連動させて、「英作文のコツ」をどのように生かして和文英訳をしたらよいのかというヒントや、和文英訳の際につまずきやすい箇所・留意点等を簡潔に説明した。
- 6 Part 3 の In Function のコーナーでは、「意見や感想を尋ねる表現」「相手の言ったことを確認するときの表現」など英語の機能面に着目した表現をまとめ、さらにそれらの表現を具体的にどのような場面で使えるのかという例を練習問題（Practice）の形で提示した。英語コミュニケーション力をさらに実践的に身につけるために役立ててほしい。
- 7 Part 4 では各トピックに関連する語句・表現を Useful Words & Expressions にまとめた。

最後になりますが、本書の編集にあたり、英文の校閲をしていただきました早稲田大学講師 Jayna Tokie Tanaka 先生に厚く御礼申し上げます。

本書が皆さんの英語学習に役立つものになることを心より願っています。

平成27年9月 萩野 俊哉

CONTENTS

Part 1 — 英作文のコツ

Chapter	page	Chapter	page
1 後置修飾	4	4 言葉の「係り」について	10
2 無生物主語	6	5 of と「の」	12
3 名詞的表現	8	6 英語の論理と構造	14

Part 2 — 文法項目別に攻める

1 時 制	16	8 話法・会話表現	30
2 助 動 詞	18	9 否 定	32
3 態	20	10 前置詞・接続詞	34
4 準 動 詞	22	11 冠詞・名詞・代名詞	36
5 比 較	24	12 形容詞・副詞	38
6 関 係 詞	26	13 強調・倒置・省略・同格・挿入	40
7 仮 定 法	28		

Part 3 — 頻出表現別に攻める

1 目的・意図	42	5 時・頻度	50
2 原因・理由・結果	44	6 数量・時間・程度	52
3 譲歩・対立	46	7 提案・要求	54
4 願望・依頼・勧誘	48		

Part 4 — 頻出トピック別に攻める

1 旅行・交通	56	5 健康・スポーツ	64
2 日本・社会・経済	58	6 言語・文化・読書	66
3 天候・自然・科学	60	7 日常生活・人生・その他	68
4 教育・学校	62		

Part 5 — 課題・自由英作文に挑む

1 パラグラフ・ライティングの基本	70	3 Exercises	73
2 例題と解説	71		

【記号類について】

[†] 改作問題	() 省略可能	done 過去分詞
Hints 日本語の英訳語句 英訳する際に参考となる例文等	[] 言い換え可能	one's 所有格
	do 原形不定詞／動詞の原形	oneself 再帰代名詞
	doing 動名詞／現在分詞	

Chapter 1 後置修飾

Model Sentences

- | | |
|---|----------------------------|
| 1. She ate all <u>the cookies</u> in the box. | ▶ 彼女は箱の中のクッキーを全部食べた。 |
| 2. He is not <u>a man</u> to tell a lie. | ▶ 彼はうそをつくような男ではない。 |
| 3. Do you know <u>that girl</u> waving her hand? | ▶ 君はあの手を振っている女の子を知っているのかい。 |
| 4. He has <u>a watch</u> made in Switzerland. | ▶ 彼はスイス製の時計を持っている。 |
| 5. She has <u>a son</u> who is a famous pianist. | ▶ 彼女には有名なピアニストである息子がいる。 |
| 6. <u>The office</u> where my father works is near Tokyo Station. | ▶ 父が働いている会社は東京駅の近くにある。 |

解説 ◎日本語には英語のような後置修飾の語順はない。たとえば、日本語では「箱の中のクッキー」というふうに、「クッキー」という名詞を修飾する語句（「箱の中の」）は必ずその前に置かれるが、英語では the cookies in the box というふうに語順としては逆になる。この点が英語を書く際には1つの大きなポイントになる。

1～4. 形容詞句（太字体）が名詞（下線部）の後ろに置かれ、後ろからその名詞を修飾している。それぞれの形容詞句は次の用法である。

- | | |
|-----------|------------------|
| 1. 前置詞＋名詞 | 2. to 不定詞の形容詞的用法 |
| 3. 現在分詞 | 4. 過去分詞 |

5・6. 形容詞節（太字体）が名詞（下線部）の後ろに置かれ、後ろからその名詞を修飾している。それぞれの形容詞節は次の用法である。

- | | |
|-----------|----------|
| 5. 関係代名詞節 | 6. 関係副詞節 |
|-----------|----------|

Tips for Writing

「都市部に住む多くの人は、自分が毎日食べるものが実際どこから来るのかをほとんど理解していない。」（中央大）

【解説】 後置修飾に関わる次の2つのポイントに注目。

POINT 1 日本語の発想：「都市部に住む」⇒「多くの人」

英語の発想：「多くの人」(many people) ← 「都市部に住む」(living in cities) : many people living [who live / who are living] in (large) cities

POINT 2 日本語の発想：「自分が毎日食べる」⇒「もの（＝食物）」

英語の発想：「もの（＝食物）」(the food) ← 「自分が毎日食べる」(they eat every day) : the food (that [which]) they eat every day

【英訳例】 Many people living in (large) cities mostly do not understand where the food they eat every day actually comes from.

Exercises

■ 日本語を英訳しなさい。下線のあるものは下線部のみとする。

1. 都会に住む人の方が田舎の人より親切でない傾向がある。 (愛知教育大)【⇒MS 3】

2. 大学に入学して、私たちが最初にしなければならないことはどんな科目を取るかを定めることだ。 (札幌大)【⇒MS 5】

3. 東海道ルートに使用された最初の新幹線は、日本の経済成長と発展の象徴として1964年に導入された。 (東海大)【⇒MS 4】

4. アイスランドは年間を通して気温が低いので、寒さに弱い人には必ずしも住むのに良い場所ではありません。 (福岡女子大)【⇒MS 2・5】

5. 言語は意味と経験を伝達するために、ある共同体によって共有されている記号の集合である。
Challenging (1)しかしながら、言語には、それを話す人々が持つ独自の文化的側面が反映される。(2)このような側面は、ある言語から別の言語への翻訳を行う時や、自分たちが使いたくない言語を無理に使うように強制される時に、壁を作り出す。 (京都工芸繊維大)【⇒MS 1・5・6】

6. 森には、2つの大きな作用があります。1つは、水の流れを緩和する作用です。一度に激しく降った雨水を、根を張った土壤中に保つことによって、川や地下にゆっくりと流しだす作用です。もう1つは、葉から空中へ蒸発させる作用です。これは木があることによって水が消費されるという現象です。蒸発する水を「緑の水」、ゆっくりと川へ流れる水を「青の水」と呼ぶそうです。森の中の水の動きを研究するのは、森林水文学という分野です。日本には森が多いのですが、この分野の研究者は少ないようです。 (兵庫医科大学)【⇒MS 5・6】

【Hints】 3. 「成長」 growth 4. 「寒さに弱い人」は「寒さを我慢できない人」とか「寒さが嫌いな人」と解釈する。 5. 「側面」 an aspect | 「翻訳」 translation (cf. 「AをBに翻訳する」 translate A into [to] B) | 「O(人)に強制して…させる」 force O to do ... 6. 「～を緩和する」 reduce ~ | 「作用」 function | 「地下」 underground | 「蒸発する」 evaporate | 「～を消費する」 consume ~ | 「現象」 a phenomenon

Chapter 1 時 制

Model Sentences

- | | |
|--|------------------------------|
| 1. If it rains tomorrow, we will postpone our outing. | ▶ 明日雨が降れば、遠足を延期するつもりだ。 |
| 2. I thought the team would win the game. | ▶ そのチームは試合に勝つと思っていた。 |
| 3. I can't get into my room because I have lost my key. | ▶ 鍵をなくしてしまったので、部屋には入れない。 |
| 4. The class had already begun when I got to school. | ▶ 学校に着いたときには、授業はもう始まっていた。 |
| 5. I have been studying since I finished dinner. | ▶ 夕食後ずっと私は勉強している。 |
| 6. He will be flying to New York at this time tomorrow. | ▶ 明日の今頃は彼はニューヨーク行きの飛行機の中だろう。 |
| 7. She will have left by the time I arrive home. | ▶ 私が帰宅するまでには彼女は出発しているだろう。 |

- 解説**
- 〈時〉や〈条件〉を表す副詞節の中では、**現在時制で未来を表す**。
 - 時制の一致の例文：主節の動詞が過去なら、従属節の(助)動詞は過去か過去完了。
 - 現在完了形**：過去に「鍵(key)」をなくし、今も持っていない。cf. I *lost* my key.
 - 過去完了形**：「過去のある時」までの動作や物事の完了・結果を表す。
 - 現在完了進行形**：過去に始まった動作が現在まで続いていることを表す。
 - 未来進行形**：「未来のある時」において進行中・継続中の動作を表す。
 - 未来完了形**：「未来のある時」までに動作や物事が完了していることを表す。

Tips for Writing

- 「学校は4月6日から始まります」
 → **School begins on April 6.** cf. School will begin on April 6.
 行事・催し・既定の行動計画など、**確実に起こる予定や予測は現在形で表す**。
 e.g. The train *leaves* at seven. 「電車は7時に出発します」
 e.g. Mr. Suzuki *retires* at the end of this March. 「鈴木氏はこの3月末で退職します」
 begin, start, end, come, go, leave など開始・終了・往来発着の動詞でよく用いられる。
 *「時」を表す前置詞に注意。日本語が「から」となっている場合でも from や since でいつも対応できるわけではない。
- 「私は彼女のことをとてもよく知っています」
 → **I know her very well.** × I am knowing her very well.
 日本語が「～している」でも、必ずしも英語で進行形になるとは限らない。**状態動詞**(know, like, live, have など)は基本的に進行形にはならない。ただし、次の例のように一時的な状態を表すときなどは進行形になる。
 He *was having* a very good time then. 「彼はそのときとても楽しんでいました」

Exercises

■ 日本語を英訳しなさい。下線のあるものは下線部のみとする。

- 彼は一生懸命勉強しなければ、その試験に合格しないでしょう。(和洋女子大)【⇒MS 1】
- 彼女は彼のいところがパーティーに来ることを知らなかった。(学習院大)【⇒MS 2】
- 今月の終わりで、私たちは英語を10年間学んでいることになる。(高知大)【⇒MS 7】
- 2つのアルバムの製作者たちは、自分たちが今までに手がけた中でこれが最高の音楽と思ったんだ。(同志社大)【⇒MS 4】
- 会議で新製品の案を発表するつもりなので、バックパックにはそれに使うコンピュータが入っているんです。(同志社大)【⇒MS 6】
- Challenging (1)食料生産が人口増加に追いついていない。(2)近年、世界の農地は減少している。(3)そして、すでに水の需要が供給量を超えてしまった国もある。(4)私たちは、地球は無限の資源を与えてくれるわけではないという単純な事実に向き合っている。(5)地球が供給できる資源の限界に挑戦しているのが科学技術だが、科学技術とてすべての問題を解決できるわけではない。

(京都工芸繊維大)【⇒MS 3・5】

Hints

- 「いっこ」 a cousin
- 未来完了(進行)形を使う。「今月の終わりで」は句でも書けるし、節でも書ける。
- 「これが…」は「この2つのアルバムが…」ということ。「製作者」 a producer
- 「バックパック」 a backpack
- 「～に追いつく」 keep up with ~ | 「農地」 agricultural land | 「需要」 demand | 「供給量」 supply | 「資源」 resources | 「～に向き合っている」 be faced with ~

Chapter 1 目的・意図

Model Sentences

- | | |
|---|------------------------------------|
| 1. She saves money (in order / so as) to travel overseas once a year. | ▶ 彼女は年に1回海外旅行に出かけるために貯金をしています。 |
| 2. The purpose [objective/goal/aim] of his visit to China is to discuss environmental issues in the country. | ▶ 彼の中国訪問の目的は、中国の環境問題について議論するためである。 |
| 3. He got up early so that he could catch the first train. | ▶ 彼は始発列車に乗ることができるように早起きをした。 |
| 4. She tries to eat less for the purpose of [with a view to] losing weight. | ▶ 彼女は体重を減らすために、あまり食べないようにしている。 |
| 5. He is studying hard for fear of failure [for fear that he will fail / in order not to fail / so as not to fail] . | ▶ 彼は落第しないように一生懸命に勉強している。 |

- 解説**
- 〈目的〉を表す to 不定詞の副詞的用法。in order to do ..., so as to do ... の形も用いられる。なお、この英文は She saves money in order that she can travel overseas once a year. と書き換えられる (→ MS 3)。また、5 で示す否定の形にも注意。
 - 〈目的・ねらい〉の意味を表す単語、purpose, objective, goal, aim を使う。
 - so that 節内の(助)動詞は can [could], will [would], 直説法現在などが用いられる。否定の意味を伴う場合、can, could はふつう用いない。e.g. He ran fast so that he wouldn't [didn't] miss the bus. 「彼はバスに乗り遅れないように速く走った」
 - with a view to ~ の to は前置詞である。※ with a view to losing [× lose] weight.
 - 「～しないように」は for fear of ~ / for fear that S + will [would] do ... / in order not to do ... / so as not to do ... などと表す。× for fear to fail のように、for fear の場合は to 不定詞を使うことはない点に注意。

In Function — 意見や感想を尋ねる表現

- | | |
|---|---------------------|
| (1) What is the new coffee shop like? | 「その新しい喫茶店はどんな感じですか」 |
| (2) How is the atmosphere there? | 「その雰囲気はどうですか」 |
| (3) What do you think of [about] the movie? | 「その映画をあなたはどう思いますか」 |
- = How do you feel about the movie?

[Practice] 4月、あなたのクラス担任として新しく女性の田中先生を迎えました。最初のホームルームの後、同じクラスの留学生の David と田中先生の印象について話をします。あなたは彼にどのように英語で尋ねますか。

Exercises

■ 日本語を英訳しなさい。下線のあるものは下線部のみとする。

- 彼は家を建てるためにその土地を買った。 (明海大⁺) [⇒MS 1・4]
- 私は忘れないように、彼の住所を書きとめた。 (青山学院大⁺) [⇒MS 1・3・5]
- 社会のさまざまな要求に応じるべく、過去10年の間に大学の入学試験の形は変わりました。 (成城大) [⇒MS 1・2]
- 黄色とオレンジ色のボタンはそれぞれベルトコンベヤーを速くしたり遅くしたりするためのボタンです。 (首都大東京) [⇒MS 1]
- 2ヶ月前、私の父は医者から、太りすぎていて血圧も高いと診断されました。そこで父は、体重を減らすために、食べ過ぎを控え、毎朝30分間ジョギングをするようになりました。そのおかげで、今では医者が驚くほどの健康体です。 (岩手大) [⇒MS 1・3]

- 6. Challenging** (1)たとえば、暖かい部屋から寒い戸外に出ると、体がブルブルと震えますが、これは体を震わせることで体温の低下を防いでいるのです。逆に涼しいところから暑いところへ行くと、今度はグラグラと汗をかきます。(2)これは、汗をかくことで体の中の熱を体外に逃がして、体温が上がり過ぎないように調節しているのです。 (奈良県立医科大) [⇒MS 3・5]

- [Hints]**
- 彼が自分の力で家を建てるのか、業者に頼んで建ててもらうのかは不明。いずれの解釈で英訳しても可。
 - 「～しないように」の部分で、for fear that S + V ... などが使える。
 - 「要求」needs | 「～に応じる」e.g. It is difficult to meet everyone's needs. 「全員の要求に応えるのは難しい」| 「入学試験」university entrance examinations
 - 「ベルトコンベヤー」belt conveyer
 - 「血圧」blood pressure | 「食べ過ぎる」overeat
 - 「体がブルブルと震える」shiver | 「体温」(body) temperature | 「汗をかく」sweat, perspire | 「～を逃がす」release ~ | 「～を調節する」control ~

Chapter 1 旅行・交通

Exercises

Model Sentences

- | | |
|--|--|
| 1. I have never traveled abroad before. | ▶ 私は海外旅行をしたことはありません。 |
| 2. I'm looking forward to going to Kyoto on a school excursion [trip] . | ▶ 私は修学旅行で京都へ行くのを楽しみにしています。 |
| 3. A subway is a convenient means of transportation in a big city. | ▶ 地下鉄は都会では便利な交通手段です。 |
| 4. His house is within easy reach [access] of the heart of Tokyo. | ▶ 彼は都心からの交通の便がよいところに住んでいる。 |
| 5. Owing [Due] to the heavy traffic , our bus was caught in a traffic jam and got to our destination an hour behind schedule . | ▶ 激しい交通のため、バスは交通渋滞につかまり、目的地に1時間遅れて着いた。 |

- 解説**
- 「海外旅行をする」→ × travel to abroad [overseas] は不可。**abroad** は副詞、**overseas** は副詞（ないしは形容詞）なので、いずれも前置詞を必要としない。
 - 「修学旅行で～へ行く」→ × go to ~ by a school excursion [trip] は不可。by ではなく、「目的・用件（～で）」を表す前置詞 **on** を使う。e.g. go on a trip [picnic] 「旅行 [ピクニック] に行く」
 - means** (手段・方法) は単複同形。e.g. several means of transportation 「いくつかの交通手段」なお、「交通手段 [機関]」は facilities for travel とも言う。
 - within easy reach [access] of ~** で「～からすぐ行ける所に」の意。cf. Keep the medicine out of the children's reach. 「その薬を子供たちの手の届かない所に置きなさい」
 - 「激しい交通」→ × the busy traffic は不可。「1時間遅れ」→ × an hour late schedule は不可。cf. The bus arrived at the stop on schedule [= punctually]. 「バスは時間通りに停留所に到着した」

Useful Words & Expressions

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 交通事故：a traffic accident | <input type="checkbox"/> 列車を乗り換える：change trains
(必ず複数形で用いる) |
| <input type="checkbox"/> 交通規則を守る：obey [follow] the traffic rules [regulations] | <input type="checkbox"/> 観光地：a tourist spot [resort] |
| <input type="checkbox"/> 交通信号：a traffic light [signal] | <input type="checkbox"/> 観光案内所：a tourist information center |
| <input type="checkbox"/> 往来の激しい通り：a busy street | <input type="checkbox"/> 禁煙席：a non-smoking [no-smoking] seat |
| <input type="checkbox"/> 乗客：a passenger | <input type="checkbox"/> ～が遅れる：～ be late [delayed] |
| <input type="checkbox"/> 片道切符：a one-way ticket | <input type="checkbox"/> 電車に間に合う：be in time for a train, catch a train |
| <input type="checkbox"/> 往復切符：a round-trip ticket | <input type="checkbox"/> 電車に遅れる：miss a train |
| <input type="checkbox"/> 予約：a reservation, a booking 《英》 | <input type="checkbox"/> バスを乗り間違える：take the wrong bus |
| <input type="checkbox"/> 時差ぼけになる：get jet lag | |
| <input type="checkbox"/> 運賃：fare | |

■ 日本語を英訳しなさい。下線のあるものは下線部のみとする。

- おじさんの家にいつもより20分早く着くように急行に乗ろうよ。(日本女子大)
 - 夜が明ける頃には、彼女は国境を越えて南に向かっていた。(福岡女子大)
 - 私はアメリカに行くとき必ずバスで旅行する。バスで旅をしていると、アメリカの広大さがよくわかる。(日本女子大)
 - 1964年の新幹線開業以来、新幹線は進化し、拡張し続け、最も快適な乗物の1つとなっている。(東海大)
 - A: 昨日の会議、来なかったね。
B: 行こうと思ったのだけれど、途中で自動車事故にあったんだ。(愛知教育大)
 - コペンハーゲンに出張し、ホテルのレストランでデンマーク名産のポークを注文した。⁽¹⁾照明が突然消え、小さなランプがテーブルに追加された。「アースアワー（地球の時間）です。1時間、ご辛抱ください」。
⁽²⁾店員は「ご用があれば大きな声で呼んでくださいね」と言った。夫婦連れの客はほほえんだ。3月最後の土曜の夜、家庭や会社、お店の照明を消す。省エネにつなげ、地球温暖化の防止を訴えるイベントだ。世界自然保護基金(WWF)が提唱し、もう6回目になる世界的取り組みだという。⁽³⁾恥ずかしながら知らなかった。
ホテルのロビーもバーもスモールライトやランプだけになった。フロントでは「この話題であなたとお話できました。⁽⁴⁾お客さんに意義が伝われば成功です」と聞かされた。(岡山大)
- Hints**
- 「急行」 an express train
 - 「国境」 a (national) border
 - 「アメリカの広大さ」 → 「アメリカがいかにかに広いか」
 - 「進化する」 evolve | 「拡張する」 expand
 - 「自動車事故」 a traffic [car] accident
 - 「突然」 suddenly, all of a sudden | 「意義」 → 「重要性」 significance | 「～を伝える」 convey ~

1 パラグラフ・ライティングの基本

英語の paragraph (パラグラフ) は日本語の「(形式) 段落」に相当しますが、日本の段落にはないいくつかのルールがあります。最近、大学入試でも増加傾向にあるいわゆる「課題英作文」や「自由英作文」においては、ある程度まとまった分量の英語の文章を書くことになり、この「パラグラフ」に着目した英作文 (パラグラフ・ライティング) が求められます。

1つのパラグラフの構造は、大きく分けて、物語風を書く場合と論理的に書く場合とで異なります。ここでは、論理的に書く場合に絞って解説します。

一般的な英語のパラグラフの構造は、原則として次の3つの部分から成り立ちます。

① 主題部 (Thesis)

自分の主張したいことを述べます (そのような文のことを「トピック・センテンス (主題文) (topic sentence) 」と言います)。抽象的な内容となる場合が多いでしょう。

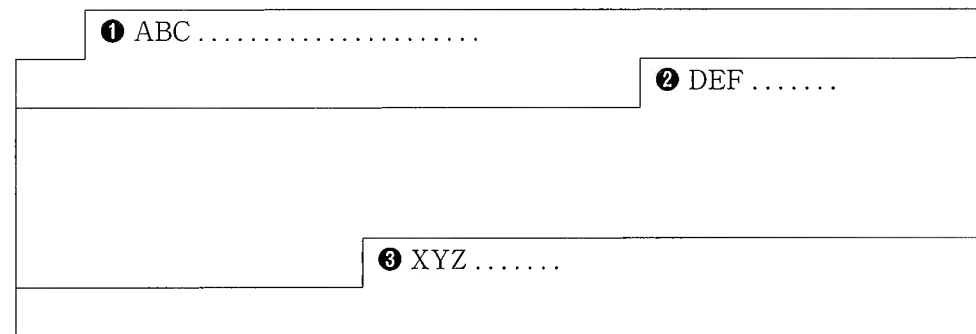
② 支持部 (Supporting Details)

①で主張する理由などを、具体例を挙げて説明します。

③ 結論部 (Conclusion)

そのパラグラフ全体の結論を示します。トピック・センテンスの内容を言葉を替えて述べることになります。

(Paragraph)



そして、いくつかの複数のパラグラフから成る文章についても、最初のパラグラフは主題部を示し、続くいくつかのパラグラフは支持部となり、最後のパラグラフが結論部となる、といった構成になるのが基本です。

以下で例題をとおして具体的に見ていきましょう。

2 例題と解説

例題 1

20世紀で最も重要な発明品は何だと思いませんか、またその理由は何ですか。120語以内の英文で書きなさい。(立命館大)

解答例

The most important invention of the 20th century is the cellular phone. There are three reasons for this opinion. First, it has helped revolutionize the way of communication in our daily lives because it enables users to call and use e-mails with almost anyone, anytime, from almost anywhere. Second, in combination with the Internet, it can be a personal information terminal because you can get any information you want wherever you are. Third, the invention of the cellular phone has led to the next far greater invention, that is, the smart phone in the 21st century. For these three reasons, I believe it is the cellular phone that is the most important invention of the 20th century. (117語)

解説

- ①まず設問の「20世紀で最も重要な発明品は何か」という問いかけに対して、「それは『携帯電話 (the cellular phone)』である」とズバリ答えます (主張)。
- ②そして、そのような主張をする理由を述べるわけですが、
 - (1)理由の中身を整理して、大きくいくつかに分類し、それらを順に「第一に (First, ...)」「第二に (Second, ...)」…というふうにわかりやすく並べて示すと、よく整った文章になり、説得力を持った読みやすい文章にもなります。
 - (2)なお、それらを具体的に記す前に、There are three reasons for this opinion. などとまず書き記し、その後具体的に理由 (reasons) を述べるとよいでしょう。
- ③そして、文章の最後には自分の主張を別の英語表現でもう一度繰り返す (For these three reasons, I believe it is the cellular phone that is the most important invention of the 20th century.), しっかりと締めくくります。
- ④留意事項になりますが、語数の指定が「○語以内」とある場合は、必ずその語数の範囲内で書かなければなりません。語数を超過してしまうと減点対象になります。とはいえ、少なすぎてもいけません。目安としてはマイナス10%くらい、本問であれば120語×0.1=12語程度のマイナス、すなわち120語-12語=108語以上の語数は必要とされることです。